

国立国会図書館レファレンス協同 データベース事業に参加しました



ターゲット:4.7

令和2年9月25日

郡山市教育委員会中央図書館

担当：小賀坂 裕子

TEL：923—6601

SDGs ターゲット 4.7 「全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技術を習得できるようにする」

郡山市中央図書館では、利用者が必要な図書資料の情報を求めた際に、図書館が資料そのもの、あるいは必要とされる情報等を提供・回答する「レファレンス事業」の情報を拡大するため、全国の図書館のレファレンス情報がデータベース化されている「国立国会図書館レファレンス協同データベース」に参加しました。

- 1 詳細は裏面のとおり
- 2 国立国会図書館レファレンス協同データベースへのアクセスは、郡山市中央図書館ウェブサイト内のバナーをクリックしてください。

郡山市図書館ウェブサイト URL

http://www.city.koriyama.lg.jp/kyoiku_shogaigakushu/3/11068.html



<レファレンスとは>

利用者が必要な図書資料の情報を求めた際に、図書館が資料そのもの、あるいはそのために必要とされる情報等を提供・回答することです。

国立国会図書館レファレンス協同データベース参加について

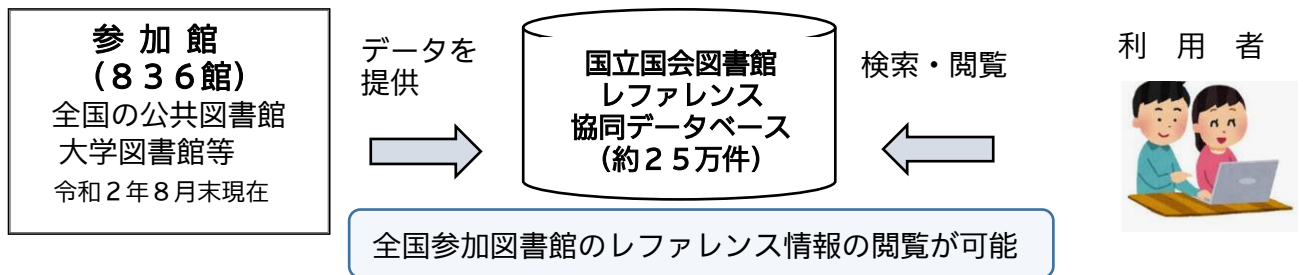
「レファレンス」とは、利用者が必要な図書資料の情報を求めた際に、図書館が資料そのもの、あるいはそのために必要とされる情報等を提供・回答することです。

これまで本市では、独自システムにより本市のレファレンスの回答内容を公開しておりましたが、この度、全国の図書館の回答内容がデータベース化されている「国立国会図書館レファレンス協同データベース」に参加することとし、本市の情報も全国に発信することとしました。

このことから今後は、本市のレファレンス情報と全国の情報の一元化が図られ、より詳細な情報が提供でき、レファレンスサービスの充実が図られることとなります。

○ 国立国会図書館レファレンス協同データベースとは

国立国会図書館が、全国の公立図書館・大学図書館等の参加館におけるレファレンスの事例をデータ化し、インターネットを通じて公開しているものです。(アクセスは無料です)



国立国会図書館レファレンス協同データベースに参加するメリット


- ・全国共通データにアクセスできることで、レファレンス時に、全国での同様の質問や回答内容が閲覧でき、利用者に幅広い情報が提供できます。また、本市のレファレンスの情報も全国で確認できます。
- ・図書館に来館しなくても、個人で自宅等からアクセスすることで全国のレファレンス内容の閲覧が可能で、「ウィズコロナ」社会における「新しい生活様式」の実践に役立ちます。

アクセス方法

- ① 郡山市図書館ウェブサイトへアクセスする。



郡山市図書館QRコード

- ②  をクリックする。

≪検索例≫ 「安積疏水」のレファレンスの内容を見たい場合。

- ① トップ画面検索に「安積疏水」を入力。
- ② 全国の図書館での「安積疏水」のレファレンス質問、回答一覧が表示される。
- ③ その中で知りたい情報をクリックすると、レファレンス内容が見られます。

他の図書館でレファレンスした内容(質問・回答)や、自分が知りたい情報が閲覧できます。

